

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイ ゆめ木風3		公表日		令和 8年 3月 15日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		5	3
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		7	1	利用定員に対しての職員数+加配の職員を配置しています。		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		6	2	特性に合わせて構造化した空間やスペース、視覚化したツールを活用し環境調整を行っています。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		6	2	毎日生活スペースの消毒を行っている。また、活動内容に応じて仕切を活用して環境調整を行っています。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		3	5	仕切などで対応しています。	個別のクールダウンスペースの作成を検討していきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		8		会議で話し合った支援内容に沿った活動を提供し、その際に実施をしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		8		保護者様のご意見を真摯に受け止めて、改善につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		8		日々の申し送りやフロア会議などで適宜意見交換を行い、必要に応じて改善を行っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		2	6	現在実施していません。	実施を検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		8		外部は必要に応じて、内部は2ヶ月に1回の頻度で実施しています。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		7	1	作成し、ホームページにて公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		8		保護者様の他に相談支援員や関係機関と連携しながら会議を実施し、それを基にさらにフロア内で協議して計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		8		日々の申し送りや定期的に実施しているフロア会議などで情報を共有しながら検討を行っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		8		会議で話し合った内容を計画に落とし、職員が閲覧しやすい場所に格納しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		7	1	フォーマルなアセスメントを基に事業所内での状況以外にも、学校やご家庭での状況も踏まえながら確認をしています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		8		計画書の書式を改訂し、必要な項目を設定しています。	話し合いを深めて具体的な支援内容の質を上げていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		8		毎月職員間での話し合いの基で企画、実施を行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		8		担当する職員を変えていくことで固定化しないよう変化をつけています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		こども一人ひとりの特性や状況に応じて計画を作成して支援を行っています。	活動内容を明確にし、状況の変化に柔軟に対応できるように連携を深めています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		休みの職員にも分かりやすく状況を伝えるために最近の状況から情報を共有しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		各職員が感じたこと、気づいたことを共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	1	支援経過記録に記録をし、それを基に支援の評価改善を行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		概ね6カ月に1度、児発管を中心に支援計画のモニタリングを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	8		お子様の特性、成長段階に応じて支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		お子様の特性、成長段階に応じて支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		児発管や児発管代理の有資格者が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		必要に応じて関係機関と連携を図りながら統一した支援ができるように体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		学校の担当の先生と安心して円滑に利用できるように、情報共有を適宜行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		必要に応じて、情報の共有などの対応ができるようにしています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	1	必要に応じて、情報の共有などの対応ができるようにしています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	2		定期的に案内があるので、必要に応じて受けられるように機会を設けていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	2	地域のイベントに参加することで交流を図っています。	必要に応じて交流する機会を設けていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8			今後参加を検討していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		送迎時や連絡帳でお子様の状況を伝えあったり課題の共通理解を図っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	3		家族支援プログラムを明確にしていないので、情報提供の機会を含めた実施の検討を行います。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	1	契約時や必要に応じて文章にて丁寧に説明させていただきます。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		関係機関と連携し、定期的に会議を開催しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	1	支援内容の説明を行い、同意を得た後、控えをお渡ししています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		連絡帳や送迎時に対応したり、必要に応じて面談を実施したりしています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8		定期的に保護者会を開催し保護者同士の交流を図っています。	父母会の活動支援や兄弟同士の交流機会を今後検討していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		苦情ボックスの設置や苦情受付担当者を設置し、迅速に対応できるように配慮しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8		毎月、お子様の様子や活動の報告、予定案内を通信で発行しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		契約時に文章にて確認させていただいたり、書類なども定められた場所での保管するなど十分に配慮しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		特性を理解することに努め、日ごろからコミュニケーションを取りながら意思の疎通が図れるように配慮しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6		現在実施していないが、実施を検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1	マニュアルごとに書類を作成し、年間計画に沿って訓練を実施しています。	保護者様への周知を行い、理解を得られるようにしていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		BCPの策定および非常災害時を想定した訓練を年間計画に沿って実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8		契約時にアセスメントをしている他、変更があれば適宜情報を更新しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	毎年調査票表を記入してもらい、必要に応じてその都度、情報を更新して対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		安全計画の策定とそれに伴う研修や訓練を年間計画に沿って行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		毎月の会報で定期的に周知をしています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		その都度共有を行い、検討をしています。	口頭での共有に留まっていることがあるので、会議録などを文章で残し、共有を図っていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		内部研修にて虐待防止研修を定期的に行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	2	該当するお子様はいませんが身体拘束についての会議を実施し、いつでも対応できるように組織的に運営をしています。		